

## 麻酔科

岡田俊樹

平成 25 年度も麻酔科医の人員確保を維持することができ、拡大した手術枠を維持継続し、予定手術のみならず緊急手術についても各科の要望に十分こたえることができた。麻酔科管理手術症例数は前年比で 3%程度、特に日勤帯での予定手術施行率が増加し、時間外延長症例が減少した。麻酔科術前外来も順調な運営を重ね、低リスク症例においては術前入院日数の短縮が、高リスク症例に対しては早い時期からの綿密な術前評価が可能となった。

また、日常臨床（安全快適な麻酔管理）と若手医師への教育に継続して力を注いできた成果として、平成 26 年度も麻酔科医の数を維持することができ、従来の手術枠および麻酔科外来とも継続予定である。

研究面では、日々の業務で遭遇した問題点を解析・検討することにより、以下の臨床研究を遂行あるいは計画中である。

1. NHO ネットワークグループ（外科・麻酔）としての研究  
院外科を中心として本年度は術後譫妄調査を行っている。
2. 術後疼痛管理法の確立
3. 術前経口補液食の安全性の検討
4. HIV 陽性手術患者の周術期管理
5. 重症患者・大手術の周術期管理
  - ①低心機能患者
  - ②食道癌・膵頭十二指腸切除術患者などにおける皮下組織間質液糖濃度モニタ

### 【2013 年度研究発表業績】

A-3

松村実穂、草野真悠子、寺西理恵、天野栄三、渋谷博美、岡田俊樹：低左心機能患者の非心臓手術における周術期心血管合併症についての後方視的検討「麻酔」63(3)：P.303-308、2014 年 3 月

B-4

北方秀憲、宮崎裕貴子、草野真悠子、寺西理恵、門野環奈、渋谷博美：術中皮下組織間質液グルコース濃度の持続測定値と術後合併症の関連についての検討。日本麻酔科学会第 60 回学術集会、札幌、2013 年 5 月

楠恵里佳、秋本歩美、草野真悠子、寺西理恵、石井裕子、渋谷博美：高侵襲手術施行患者の皮下組織間質液グルコース濃度連続測定による術前術中血糖変動の検討。日本麻酔

科学会第 60 回学術集会、札幌、2013 年 5 月

秋本歩美、伊藤賢佑、西井梢、小林恵子、牧野裕美、島川宜子：当医療センターにおける HIV 感染患者の手術症例に関する検討。日本麻酔科学会第 60 回学術集会、札幌、2013 年 5 月

伊藤賢佑、春原真理、松村実穂、石井裕子、三島恭子、天野栄三：高線量率組織内照射針留置術に対する脊髄くも膜下麻酔施行時の、等・高比重ブピバカインによる術中麻酔管理の比較検討。日本麻酔科学会第 60 回学術集会、札幌、2013 年 5 月

宮崎裕貴子、福光一夫、松村実穂、渋谷博美、岡田俊樹：日帰り手術症例の手術室入室時の不安度および麻酔導入時のマスク不快感についての検討。日本小児麻酔学会第 19 回大会、神戸、2013 年 9 月

楠恵里佳、草野真悠子、島川宜子：腹部大動脈ステントグラフト内挿術後に両下肢麻痺を発症した一例。日本臨床麻酔学会第 33 回大会、金沢、2013 年 11 月

#### B-6

田中康智、北方秀憲、門野環奈、三嶋恭子、天野栄三、渋谷博美：脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔後に馬尾症候群が疑われた一例。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

宮崎裕貴子、石井裕子、伊藤千明、小林恵子、牧野裕美、松田智明：周術期の麻薬管理～安全で効率的な管理を目指して～。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

中村真子、楠恵里佳、宮崎裕貴子、伊藤千明、天野栄三、岡田俊樹：重度大動脈弁狭窄合併進行大腸癌に対し、随伴症状の改善を優先し外科手術を先行するに至った 2 症例。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

石井裕子、楠恵里佳、春原真理、井上由紀子、牧野裕美、松田智明：90 歳の大動脈弁狭窄症を合併した巨大卵巣腫瘍の麻酔経験。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

春原真理、寺西理恵、長井友紀子、門野環奈、島川宜子、岡田俊樹：術直後より末梢神経障害を生じた 2 症例の麻酔経験。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

伊藤賢佑、中村真子、草野真悠子、松村実穂、井上由紀子、岡田俊樹。術前検査を契機に発見された成人汎下垂体機能低下症例の周術期管理。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

島川宜子、田中康智、伊藤賢佑、草野真悠子、小林恵子、渋谷博美：術前に両側気胸と診断されていた両側巨大肺嚢胞患者の麻酔経験。日本麻酔科学会第 59 回関西支部学術集会、大阪、2013 年 9 月

#### B-8

渋谷博美：女性医師支援について—大阪医療センターでの病児保育の恩恵。第 82 回日本呼吸器学会近畿地方会 呼吸器診療にたずさわる医師支援を考えるフォーラム、大阪、2013 年 12 月